

橈骨遠位端の形状と掌側ロックングプレート に関する研究

1. 研究の対象

学生解剖実習用献体（40体）を対象（2021年4月1日から2024年2月29日までに本学にご提供された献体）

2. 研究期間

研究実施許可日～2026年3月31日

3. 研究目的・方法

目的：本研究の目的は、橈骨遠位端と掌側ロックングプレートの解剖学的な「骨性指標」と「位置情報」を3Dイメージ上で明らかにし、この情報を基に3D生体モデルを用いてより正確で再現性のある観血的整復固定術の術式を開発し、橈骨遠位端骨折の治療成績を向上させることです。

方法：学生解剖実習用献体の橈骨遠位端を剖出します。骨形状を観察してマーキングしAutopsy imaging (Ai) 用のCTスキャナーで撮像します。橈骨遠位端と掌側ロックングプレートの3Dモデルを構築、CAD用ソフトウェアを用いた計測を行います。

- 1) 橈骨遠位端の特徴的な骨形状「骨性指標」の解析
- 2) 骨とプレートの接触面積、骨上のプレート位置といった2次元・3次元上の「位置情報」の解析

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：学生解剖用実習用献体の橈骨等

情報：献体の生前の情報（性別、年齢、病歴、身体所見等）

5. 研究費および利益相反

本研究は、独立行政法人日本学術振興会より令和2年度科学研究費助成事業（学術研究助成金基金助成金）として令和2年度～令和3年度まで合計1,330,000円の資金提供を受け、それを使用します。研究者は本研究に関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はありません。

※ 利益相反とは、研究者が企業等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受

け、その利益の存在により研究の結果に影響をおよぼす可能性がある状況のことをいいます。

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究に関わる研究者は、本研究に用いられる個人情報およびご献体の生前の情報などのプライバシーに関する情報に関して、個人の人格尊重の理念のもと厳重に保護され慎重に取り扱われるべきものと認識し、プライバシー保護に努めます。

7. 研究結果の公表方法

研究に関わるいかなる者も、本研究にて得られた成績等に関し守秘義務を有します。その成績等の公表（学会発表を含む）においては、事前にその内容等について研究責任者の承諾を得るものとします。公表に際しては、献体登録者のプライバシーが保護されるように配慮し、また、この試験全体の結果の評価に関しては症例検討会での評価のない限り公表しないものとします。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも献体登録者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

(住所) 〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号

(電話) 代表 019-613-7111 FAX 019-907-2399

内線整形外科医局 6562 (所属・氏名) 整形外科学講座・佐藤 光太郎

研究責任者：

岩手医科大学整形外科学講座 佐藤 光太郎

-----以上